



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

2020年4月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

LT (Leadership Training) リーダーシップトレーニング

— 主 題 —

国際会長 「Building today for a better future」
アジア会長 「Action」 (アクション)
東日本区理事 「勇気ある変革 愛ある行動」
北海道部部长 「日々新たな者としてYMCA と共に歩もう」
札幌クラブ会長 「手を取り合って」 Let Us Cling Together

Jennifer Jones (オーストラリア)
田中 博之 (東日本)
山田 敏明 (十勝)
宮崎 善昭 (札幌)
伏木 康 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 伏木 康
書 記 柴田 伸俊
会 計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今月の聖句

イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。そのとき、湖に激しい嵐が起こり、船は波にのまれそうになった。イエスは眠っておられた。弟子たちは近寄って起こし、「主よ、助けてください。おぼれそうです」と言った。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」そして、起き上がって風と湖とをお叱りになると、すっかり風になった。
マタイによる福音書 8章 23 節～26 節

巻頭言

YMCA SKI CAMP のサステナビリティ 会長 伏木 康



SDGs の Goal 13 は「気象変動に具体的な対策を」である。大人たちの取組が不十分だったのか、2003年生まれの人々のグレタ・トゥーンベリさんの訴えが話題になり、今年のTIME誌の person of the year に選ばれた。

今やニセコは国際的なリゾートになっているが、50年ほど前のニセコワイスはYMCA専属のスキー場かと思うくらい、自由にシュプールを描けた。今シーズンは雪不足が顕著で、冬休みになっても日帰りコースのスキー場がオープンせず、より遠くのスキー場への変更を余儀なくされた。また、シーズン後半もコロナウィルスの影響で3月以降、すべてのスキープログラムが中止になってしまった。

私が小学生の頃、日帰りのYMCAのスキースクールは札幌市中央区の盤渓スキー場を使用しており、土曜日に授業が終わって午後から通うこともあった。当時は札幌オリンピック開催前後で選手たちが滑った手稲山のクラスも人気があった。

札幌市は2030年の冬のオリンピックの誘致に取り組んでいる。今シーズンは残念の結果であったが、来シーズンのスキーキャンプは多くの子供たちに参加してもらい、オリンピック選手を輩出する夢を見たい。一方、雪解けシーズンでは、融雪による川の氾濫という自然災害も年々増えているような気がする。ゴールデンウィークに春スキーができなくなることはないようSDGsのGoal 13にも取り組んでいく必要がある。

上達してくると、近隣の日帰りでは満足できなくなって、ニセコアンヌプリやルスツの宿泊コースに参加した。ニセコワイスで深雪を滑った時のパウダー状の雪が顔にかかって前が見えなくなるホワイトアウトの快感は今も忘れられない。



2020年2月例会
出席報告

在籍会員 8名
ゲスト 1名

例会出席 6名
ビジター 0名

メネット 0名
出席者合計 7名

メーキアツプ 0名
出席率 88%

札幌ワイズメンズクラブ 2020年4月例会

日時： 2020年4月28日(火) 18:30~20:30
 場所： 北海道YMCA 101教室
 札幌市中央区南11条西11丁目
 電話 011-561-5217
 会費： 1,000円

プログラム：

司会 柴田 伸俊

- ① 開会点鐘 会長 伏木 康
 ② ワイズソング・ワイズの信条 全 員
 ③ 今月の聖句 秋葉 聡志
 ④ 誕生日 なし
 ⑤ 結婚記念日
 4月9日 伏木 康、恵美子
 4月15日 小野 健、エリナ
 4月16日 中田 靖泰、千鶴
 4月29日 柴田 伸俊、邦子

⑥ 卓話 「会員スピーチ」

出席者全員

- ⑦ 1分間スピーチ (卓話と同じ) 出席者全員
 ⑧ 諸報告 各担当者
 ⑨ YMCA報告 担当主事 北川佳治

⑩ 今月の歌

「朧月夜」

茶の花畑に入日すれ



- ⑪ 閉会点鐘 会長 伏木 康

成都Yから友情のマスク！

世界中が新型コロナウイルス (COVID) の猛威に恐れおののいている時、一足先に勝利宣言を発表した中国から友情のマスクがなんと1,100枚届きました。「コロナの政治利用」ではありません。YMCAは国、民族、政治を超えた友情で結ばれています。一日の早くコロナに打ち勝ち、今度は日本YMCAが世界を助ける番です。同種同文の有難さ。「守望相助」の意味はすぐ分かりますね。



3月例会報告

日時： 2020年2月18日(火) 19:00~20:00
 場所： 北海道YMCA 101教室
 出席者： 秋葉、北川、柴田、中田、安田、宮崎
 ゲスト 工藤啓司 (YMCA ディレクター)



3月事務会報告

日時： 2020年3月24日(火) 19:00~20:00
 出席者： 秋葉、北川、柴田、中田、宮崎

1. 時計台コンサートについて：

3月17日実施予定の安田文子会員の「時計台コンサート」は新型コロナウイルス蔓延防止のため中止致した。

2. 4月例会1週延期

4月21日(火)の4月例会は1週延期し、**4月28日(火)**に実施する。卓話講師は招かず、メンバースピーチ+YMCAスタッフスピーチで行う。スタッフの人は北川さんに依頼する。

3. 今後の延期が決まった行事

チャリティラン 時期未定
 北海道部役員研修会 23日に延期
 (後日の連絡で「中止」と決定。)

5. ここにこ1分間スピーチ

中田会員より提案があり、今後の例会から実施することになった。

何故この聖句を 小野 健

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中で今まで経験したことのない不安を引き起こしています。自然の力(ウイルス)に対して、人間の力の限界にさえ思える現実の前に、どうしたらいいのだろうという不安の毎日かと思えます。しかし、このような状況の中だからこそ、冷静に考えて、正しく怖がり行動していきましょう、自分のことだけでなく周りの人のことを考えて前向きに生きていきましょう、というメッセージを伝えていきたいと考えています。

ステップⅡ研修報告 北海道YMCAウェルネスセンターディレクター 工藤 啓司



この度、ステップⅡ研修に参加をさせて頂かせて頂きます。本来であれば2018年度の参加だったのですが、昨年9月の札幌会館の諸問題があり参加を見合わせておりましたが、2019年度にステップⅡ研修への参加の機会を与えられました。

日程：2019年9月18日（水）～11月30日（土）

日数：74日間

研修場所：YMCA東山荘、在日本韓国YMCA各YMCAの管理職レベルのスタッフが全国から集められ、以下の内容について研修し理解を深めました。

ステップⅡ研修のねらい

- ① YMCA ミッション理解
- ② キリスト教理解
- ③ YMCA 理解
- ④
- ⑤ YMCA の歴史
- ⑥ 現代社会の課題と地域のニーズ
- ⑦ プログラム開発と事業開発
- ⑧ 組織運営と管理の学び
- ⑨ 人間関係能力の開発と自己理解

上記の8項目について40ある講座にちりばめて、約50日間で各講座を1コマ90分で1日4コマで行いました。



前列、左から工藤、
山田東日本区理事

研修を行った施設は主に2ヶ所で先に紹介した通りですが、この他にフィールドワークとして、東山荘での研修期間中には富士山YMCAエコビレッジや東京YMCA山中湖センターへ訪問に行きました。在日本韓国YMCAでの研修期間中には中野区にあるワールドビジョンジャパンさんの訪問や茨城YMCA、東京YMCA指定管理施設である、芝浦アイランド児童高齢者交流プラザなどを訪問し研修を行ってきました。

個人的には東京YMCA山手センターを訪問し2年前まで東京YMCAから札幌ランチに出向していた池田峻

也スタッフに会うことが出来、互いの近況を報告しました。他には、昨年まで同じく札幌ランチで働いていた山口葵さんを訪問してきました。山口さんは現在東京都東村山にあるスポーツクラブRONDOのフィットネスに勤務していたのでご報告をており、YMCA以外のスポーツ施設を見る機会も中々ないので期待しながら訪問しました。

競合が少ない地域という事もあり水泳・テニス・ゴルフ・フィットネス・高齢者の運動・24時間フィットネスなどを行っており、企業理念の中に「地域の皆様に健康で生き生きとしたライフスタイルを提案する」という目指しているものを持っており、「地域のみなさま」「健康」「ライフスタイルの提案」などYMCAと方向性はとてもよく似ている会社だと思いました。

今回の研修でお世話になった方々を紹介します。研修全体として大変お世話になったのは日本YMCA同盟研究所所長の光永さんと研究所担当の杉野さんです。光永さんはワイズメンズクラブの東日本区の連絡主食事に関しては、東山荘での食事は月曜日～金曜日の研修がある平日は朝・昼・晩の提供がありました。土・日の研修の無い日の食事は歩いて10分のところのコンビニや御殿場市内で食材を購入しラウンジで研究生皆で食べるなどをして過ごしました。洗濯などは1号館にある洗濯機を順番に使いました。

研究生の紹介

今回のステップⅡ研修は全国から8名が集められ行われました。8名中3名はウェルネス事業に携わる方で他の5名は日本語学校や専門学校の学校関係者となっています。男女比は男性が7名、女性が1名となっております。年齢構成は全員が40代となっており、年齢的にこんなにまとまる事は珍しいそうです。

修了レポート

ステップⅡ研修の締めくくりは修了レポートの発表となります。修了レポートは研修期間中にテーマを決定しそのテーマに基づいてレポートを書いていく事となります。文字数は20,000字以上となっており、単純な計算で言うとA4用紙1枚で2,000字とすると10枚以上となりますが、文字の他に表や写真、グラフなどを入れと更に多くなります。(p.4右欄に続く)



右から3番目、工藤

(工藤 STEP 研修報告： 前ページより続く)

私は「札幌 YMCA ウェルネス事業の将来構想」と言うテーマを設定しました。内容は4章立てで作成し第1章ではウェルネスセンターの施設、プログラム、地域の現状を説明しています。第2章ではその現状を踏まえ施設・財務・地域について課題の抽出を行いました。第3章では2章で上げた課題の解決について提案(仮設)を表現しました。最後の第4章では改修後のウェルネスセンターの目指したいところを書きました

研修で学んだ事

特に印象に残った物は2つあります。1点は島田恒先生の講義で「非営利組織の運営」と言う講義があり私たちは日常の中で「プログラム」「事業」などのような言葉をよく使いますが、私たち YMCA スタッフにとって一番大切なものは「ミッション」であるという事を教えて頂き、再確認をさせて頂きました。

2点目はキリスト教講座を担当して頂いた金先生の講義でした。私は2018年度に受洗をしてクリスチャンにはなりたてで、わからない事が多くあります。クリスチャンになったら教会の事など理解していないとならないのでは?とか奨励などをきちんと出来なくてはならないなどと考えていた自分がいて、とてもプレッシャーに感じていたのですが、金先生は講義の中でいきなり全部を知ろうと思ってもなかなか難しい事だとお話頂きました。まずは日々祈る事から始めたらよいと思いますとお話ししてくださいまして、気持ちがすごく楽になりました。

他には現代社会の課題と地域のニーズの中ではジェンダー理解と社会課題の現場からの学びの中で、LGBTの事についての社会課題や若者や高齢者の貧困の課題について教えて頂きました。今までは自分事として考えお話し頂きました。まずは日々祈る事から始めたらよいと思いますとお話ししてくださいまして、気持ちがすごく楽になりました。ていながったことが現実にある問題として提起して頂き、YMCAとしてもこれからの地域社会を考えて行く上では必要な要素であるとも感じました。

最後に

このステップⅡ研修に送り出して頂いたことに感謝を致します。秋葉総主事をはじめ、ウェルネスセンターのスタッフ、この研修のすべての関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。今回の研修で苦楽を共にした研究生7名にも感謝すると同時に、この7名の研究生とはこれからのYMCA ライフの中でしっかりと繋がっていく事がとても大切で、そこからさらにネットワークを広げて行く事がもっと大切と感じています。本当にありがとうございました。



研修最後の日
同期の櫻との記念撮影
前列左端 工藤

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① 室内サッカー大会(報告)

2月23日(日)に札幌 brunch のサッカー及びフットサルクラスのメンバーが集い、室内サッカー大会(フレンドシップリーグ)が札幌 YMCA 体育館にて行われました。幼児年中から小学6年生までの少年少女33名が1年間の練習の成果を発揮し、果敢なプレイが随所に見られました。

札幌ワイズメンズクラブの皆様には、子ども達へのスポーツドリンク、Y's 特別賞(サッカーボール)並びに保護者へのコーヒーをご提供いただき、大会をサポートいただきました。次年度は更に沢山の子供達が集う大会にしていきたいと思えます。(写真はY's 特別賞を授与する柴田副会長)



② スタッフ研修(報告)

札幌 brunch では、2月14日(金)と17日(月)に「大人が変われば子どもも変わる」をテーマにスタッフ研修を行いました。私たちが日々子どもたちと接する中で、自分たちが子どもたちに何ができるかワークショップを用いて学びました。

その中で、「自分の気持ちを言語化」することが大きな鍵となることが解りました。自分の気持ちを発信する際、「iメッセージ」(i=自分)を主語にして話をする方法)が良いということです。これが、人それぞれ価値観が異なることを知り、お互いを尊重し合う一つの手立てとして有効であることが解りました。

しかし、これがまた難しいということも同時に学びました。まずは、大人が発信の仕方を変えることが大切です。子どもは、大人の真似をしているにすぎません。大人が変われば、子どもも変わります。まずは、自分が変わろう!という意識になった良い機会となりました。



③ 創立記念日集会中止(お知らせ)

4月5日(日)を予定しておりました北海道 YMCA 創立記念日集会ですが、コロナウィルス感染症拡大防止の措置として今年度は中止と致します。各 brunch にて、お祈り(礼拝)の機会を設けて、代替致します。

④ 新年度プログラム開始(予定)

4月6日(月)より新年度の各プログラムが開始予定となります。今後の行政によるコロナウィルス感染症拡大防止措置の動向により開始日程が変更となる場合がありますが一日でも早い開始を願っています。